

平成 29 年度「健やかな身体」育成プログラム

学校番号：21012

学校名：日新小学校

「健やかな身体」育成プログラムのポイント

校務分掌に、「たくましい子ども育成部」を新設し、「健やかな身体づくり部門」「学級活動部門」による創造的な取組が行われるようにしていく。

項目名	項目内容	項目内容の具体		
-----	------	---------	--	--

目標	「健やかな身体」の育成に係る目指す子ども像	☆学校教育目標より「たくましい子」 ☆体力づくりに進んで取り組み、健康で安全な生活を送ろうとする子どもの育成		
----	-----------------------	---	--	--

「健やかな身体」に関する成果や課題	A 体育に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○「朝の自由運動」「日新タイム」の継続 ○「スポーツテスト」の活用 ○「地域の体育行事等」への積極的参加の呼びかけ	【成果】 ⇒後期学校評価において、86%の児童が、体力づくり積極的に取り組んでいると答えている。夏季休業中のラジオ体操への参加も、全校で7504回と意欲的に取り組んでいる。	【課題】 □運動への苦手意識や生活リズムの乱れが見られる児童には、生活全般の見直しを図りながら、体力づくりへの意識を高めていく必要がある。
	B 健康に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○「早寝・早起き・朝ご飯」等の意識向上を目指した呼びかけ ○「生活リズムチェックシート」「雪かきチャレンジ」などの活用	【成果】 ⇒「学校説明会」や「各種お便り」で家庭に呼びかけたり、学習にも取り入れたりした。また、家庭科専科を実施したことにより、さらに指導の徹底が図られた。	【課題】 □生活リズムが乱れる大きな要因に、ゲームやスマホがある。家庭とともに、課題解決に向けて取り組む機会をつくりたい。

今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 「健やかな身体」育成の意識を更に高めるための、「新たな場づくり」と「確かな価値付け」を図るようにする。 </div>		
-----------------	--------	---	--	--

今年度の具体的な改善策（取組）	A 体育に関する指導の充実	○本校が現在取り組んでいる活動・場を大切にし、その内容をより効果的な取組となるよう、工夫改善を図るようにする。 ○スポーツテストの結果（数値）をもとに、体育科の準備運動に効果的な体操を取り入れたり、より自己内評価を高めていけるような関わり・環境整備を進めたりしていく。 ○より意欲的な取組となるよう、具体的な目的・目標をもたせられるようにする必要がある。例えば、校内のイベントとして、低学年「ドッチボール」、中学年「ポートボール」、高学年「バスケットボール」と、ブロックごとのスポーツ大会を開催する。 ○跳び箱・マットなどの器械運動の実施時期を全学年で揃え、朝から最終校時終了まで、体育館で使用できるようにするなど、より運動に取り組みやすくするカリキュラムの見直しを図る。		
	B 健康に関する指導の充実	○「性教育」「食育」「保健指導」など、外部の専門家に協力をいただきながら、子どもたちの心に響く「スペシャル授業」の開催を進める。 ○高学年で毎年課題となっている「LINE」の使用については、近隣の中学校と情報交換を行うようにし、連携を図りながら、生活改善の視点から、保護者への働きかけを行うようにしていきたい。		

検証の方法	各種調査等の活用	○保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常の実技テストや観察等） ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査や学校独自の調査結果等を活用 ○学校独自の児童・生徒アンケートや保護者アンケート等の活用 ○学校評議員会・学校関係者評価等の活用		
-------	----------	---	--	--

「さっぽろっ子『健やかな身体』の育成プラン」の体力・運動能力の向上・部活動の活性化・食育の推進・性に関する指導の充実・基本的な生活習慣の確立を踏まえて具体化。